

電気通信設備有効性評価基準（案）  
（路側放送・ラジオ再放送設備編）

平成21年3月

電気通信設備有効性評価基準（案）  
（路側放送・ラジオ再放送設備編）

目 次

1	目 的	付 10 - 1
2	適 用 範 囲	付 10 - 1
3	有効性要因の整理	付 10 - 1
4	有効性評価手法の検討	付 10 - 2
5	添付資料	付 10 - 2

# 電気通信設備有効性評価基準（案）

## （路側放送・ラジオ再放送設備編）

### 1 目的

本基準（案）は、電気通信設備の妥当性及び改善（改良）の可否等を総合的に評価・検証するにあたり、電気通信設備の重要度、目的および有効性の要因を洗い出し、点数化することにより有効性を評価することを目的とする。

### 2 適用範囲

本基準（案）は国土交通省が所管する道路に設置された路側放送・ラジオ再放送設備に適用する。

### 3 有効性要因の要因

路側放送・ラジオ再放送設備の運用目的が「車両の安全かつ円滑な交通の確保」であることから、「車両の安全かつ円滑な交通の確保」に着目して整理を行うものとする。

#### (1) ガイドラインによる整備方針

路側放送・ラジオ再放送設備設置時に目的として挙げられるその設備毎の設置場所に於ける整備方針は、その路側放送・ラジオ再放送設備の必要性を示す指標となりうるため、有効性の項目としては比較的重要な項目であると考えられる。

なお、ここで述べる整備方針とは、設置当初の整備方針ではなく、有効性評価を実施する時点で再度見直した整備方針とする。

#### (2) 道路条件（交通量）

路側放送・ラジオ再放送設備の提供対象者が多いほど有効性が高いと考えられるため、その設備毎の設置場所に於ける道路条件（交通量）を要因として挙げるものとする。

#### (3) 道路情報提供実績

情報提供内容の優先度の違いから道路提供情報（規制情報、路面状況情報、気象情報）、その他の情報（交通標語、その他の情報等）、ラジオ再放送に分類して要因とするものとする。

ア 道路情報提供実績については、有効性が情報提供内容と提供頻度によるところが大きい  
ため、情報提供内容別の提供回数を要因として挙げるものとする。

イ その他の道路情報提供実績については、道路情報提供実績と同様に有効性が提供頻度  
によるところが大きい  
ため、提供回数を要因として挙げるものとする。

ウ ラジオ再放送提供実績については提供状況の状態を要因として挙げるものとする。

有効性要因を整理すると、以下のような項目に大別される。

- ・ガイドラインによる整備方針
- ・道路条件（交通量）
- ・道路情報提供実績（提供回数）
- ・その他の道路情報提供実績（提供回数、路側放送設備）
- ・ラジオ再放送提供実績（ラジオ再放送設備）

## 4 有効性評価の手法

有効性要因を整理したうえで、路側放送・ラジオ再放送設備の設置場所毎にその有効性要因に沿って、得点化することにより評価を行う。

また、各々の評価点数に重み付けを行い、総合的な評価点数とする。

評価の各表は、付表 1.1、2 有効性評価表、付表 2.1、2 有効性評価点基準により行うこととする。

- (1) ガイドラインによる整備方針  
評価対象の路側放送・ラジオ再放送設備の現在における整備目的、整備方針で評価を行う。また、重み付けについては、非常に重要な要素であるため、40/100とする。
- (2) 道路条件  
評価対象の路側放送・ラジオ再放送設備の設置されている近傍の日交通量で評価を行う。また、重み付けについては、比較的重要度が低いため、10/100とする。
- (3) 道路情報提供実績（提供回数）  
評価対象の路側放送・ラジオ再放送設備に於いて情報提供内容別の提供頻度で評価を行う。また、重み付けについては、比較的重要度が高く有効利用の要因となるため、路側放送設備については40/100、ラジオ再放送設備については25/100とする。
- (4) その他の道路情報提供実績（提供回数、路側放送設備）  
評価対象の路側放送設備に於いて情報提供の提供頻度で評価を行う。また、重み付けについては、重要度は低いため、10/100とする。
- (5) ラジオ再放送実績（ラジオ再放送設備）  
評価対象のラジオ再放送設備に於いて再放送が適切に提供できたかの使用実績で評価を行う。また、重み付けについては、重要度は高くないが、常時提供が基本のため、25/100とする。
- (6) 有効性評価の実施時期  
有効性評価の実施時期は劣化診断終了後に実施するものとし、次年度からの有効性評価は設置環境の変化（バイパス道路の完成等）等がある、又は評価実施から数年以上が経過し、有効性に変化が想定される時、実施するものとする。
- (7) 有効性評価の判断  
有効性評価の評価点の判断としては、「高」「低」の2段階とし、判定の閾値は50点とする。  
有効性評価点による有効性の評価と判断を表1に示す。

表1 有効性評価の評価点判断

換算評価点	有効性の評価	判断の適用
0点～50点未満	「低」	移設又は廃止を検討
50点以上～100点	「高」	維持継続

## 5 添付資料

- (1) 有効性評価表
  - 付表 1.1 路側放送設備 有効性評価表
  - 付表 1.2 ラジオ再放送設備 有効性評価表
- (2) 有効性評価点基準
  - 付表 2.1 路側放送設備 有効性評価点基準
  - 付表 2.2 ラジオ再放送設備 有効性評価点基準

### 付表1.1 路側放送設備 有効性評価表

設置場所			形 式			
設置名称			定 格			
用 途			仕 様			
製造者名						
製造年月						
製造番号						
評 価 日			評 価 者			
有効性評価の対象	対象・対象外		対象外の理由			
項 目	置 場	評 価 項 目	評 価 配 分 点 A	評 価 結 果		
				評 価 点 B	重 み 付 け C	換 算 評 価 点 D (B/A × C)
1.ガイドラインによる整備方針	①	整備方針	評価点	9	40	
		事前通行規制区間の手前	9			
		峠部等事故の多発する区間の前後	7			
		豪雨、豪雪、路面凍結等の発生が予想される区間の手前				
		迂回路等道路の結節点の前後	5			
複数の要因がある場合は評価点が高いものを1つ記入			(小計)	9		
2.道路条件	①	交通量(K1)	評価点	9	10	
		20,000 ≤ K1	9			
		10,000 ≤ K1 < 20,000	7			
		4,000 ≤ K1 < 10,000	5			
		K1 < 4,000	3			
(小計)			7			
3.道路情報提供実績		放送回数	評価点		40	
		放送回数(K2)	9(6)			
		60 ≤ K2	6(3)			
		12 ≤ K2 < 60	3(1)			
		K2 < 1	0			
	①	規制情報	9			
	②	路面状況情報	9			
③	気象情報	6				
(小計)			19			
4.その他の情報提供実績	①	交通標語・その他広報等	評価点	5	10	
		放送回数	9(6)			
		放送回数(K2)	6(3)			
		60 ≤ K2	3(1)			
		12 ≤ K2 < 60	0			
		1 ≤ K2 < 12				
		K2 < 1				
(小計)			5			
換算評価点合計			(100点換算評価)			
評価のまとめ						

付表1.2 ラジオ再放送設備 有効性評価表

設置場所		形 式				
設置名称		定 格				
用 途		仕 様				
製造者名						
製造年月						
製造番号						
評 価 日		評 価 者				
有効性評価の対象		対象・対象外		対象外の理由		
項 目	No.	評 価 項 目	評価配分点A	評 価 結 果		
				評価点B	重み付けC	換算評価点D (B/A × C)
1.ガイドラインによる整備方針	①	トンネル等級	9		40	
		トンネル等級	評価点			
		AA級(注1)				
		A級	9			
		B級	7			
		C級	6			
		D級	5			
		200m以下	3			
		(小計)	9			
2.道路条件	①	交通量(K1)	評価点	9	10	
		20,000 ≤ K1	9			
		10,000 ≤ K1 < 20,000	7			
		4,000 ≤ K1 < 10,000	5			
		K1 < 4,000	3			
		(小計)	9			
3.道路情報提供実績		放送回数		25		
		放送回数(K2)	評価点			
		60 ≤ K2	9(6)			
		12 ≤ K2 < 60	6(3)			
		1 ≤ K2 < 12	3(1)			
		K2 < 1	0			
			(小計)			
4.ラジオ再放送の提供実績	①	再放送実績	9	25		
		(再放送が適切に放送できたか)				
		(小計)	9			
		換算評価点合計 (100点換算評価)				
評価のまとめ						

注1: AA級トンネルは有効性評価の対象としない

付表2.1 路側放送設備 有効性評価点基準

No.	評価項目	配分点	評価点									
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			低い ← 有効性 → 高い									
1	ガイドラインによる整備方針	9	該当なし					③迂回路等の道路の結節点の前後			②峠部等事故の多発する区間の前後 ③豪雨、豪雪、路面凍結等の発生が予想される区間の手前	①事前通行規制区間の手前
2	道路条件 交通量/日	9			4000台/日未満		4000台/日以上 10,000台/日未満		10,000台/日以上 20,000台/日未満		20,000台/日以上	
3	道路情報提供実績（放送回数）											
	規制情報（過去1年間）	9	0回（過去1年間）		1回以上12回未満（過去1年間）			12回以上60回未満（過去1年間）			60回以上（過去1年間）	
	路面状況情報（過去1年間）	9	0回（過去1年間）		1回以上12回未満（過去1年間）			12回以上60回未満（過去1年間）			60回以上（過去1年間）	
	気象情報（過去1年間）	6	0回（過去1年間）	1回以上12回未満（過去1年間）	12回以上60回未満（過去1年間）			60回以上（過去1年間）				
4	その他の情報提供実績 交通標語・その他広報等	9	0回（過去1年間）		1回以上12回未満（過去1年間）			12回以上60回未満（過去1年間）			60回以上（過去1年間）	

付表2.2 ラジオ再放送設備 有効性評価点基準

No.	評価項目		配分点	評価点									
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
				低い ←————— 有効性 —————→ 高い									
1	ガイドラインによる整備方針	トンネル等級	9			200m未満		D 級	C 級	B 級		A 級	
2	道路条件	交通量/日	9			4000台/日未満		4000台/日以上 10,000台/日未満		10,000台/日以上 20,000台/日未満		20,000台/日以上	
3	道路情報提供実績（放送回数）	規制情報（過去1年間）	9	0回 （過去1年間）		1回以上12回未満 （過去1年間）				12回以上60回未満 （過去1年間）		60回以上 （過去1年間）	
		路面状況情報（過去1年間）	9	0回 （過去1年間）		1回以上12回未満 （過去1年間）				12回以上60回未満 （過去1年間）		60回以上 （過去1年間）	
		気象情報（過去1年間）	6	0回 （過去1年間）	1回以上12回未満 （過去1年間）	12回以上60回未満 （過去1年間）				60回以上 （過去1年間）			
4	ラジオ再放送の提供実績	再放送実績（過去1年間）	9	放送ができなかった （過去1年間）				一部のCHが放送できない		ときどき放送ができなかったことがあった		適正な放送が 出来た （過去1年間）	